



肝付町立 波野小学校

児童数 23 人
学級数 4 クラス



《テーマ》

いじめ、不登校等を含めた人権同和教育に関する様々な課題に応じた計画的・体系的な研究を通して、児童・職員の意識の高揚や指導者としての資質向上を図る。

研究に当たって（テーマ設定の理由）

研究の実際

本校の多くの児童は、多様な人間関係の中で生活体験が少ないため、自分の考えに自信が持てず、自分たちで主体的に課題を解決することを苦手としている。

そこで、児童が人権意識を高めることにより、互いの違いを認め、自他を大切に思うことや、教師や保護者等、児童に関わる大人が児童一人一人に寄り添うことをねらいとして取組を行った。

5月22日（月）	人権教室「仲間づくり」外部講師
6月27日（火）	職員研修「人権教育」外部講師
7月25日（火）	P T A 研修視察「敬愛園訪問」
9月15日（金）	教育講演会 外部講師
10月23日（月）	職員研修「人権同和教育に関する研修の環流学習」
12月4日（月）～9日（土）	人権週間
12月8日（金）	人権教室（DVD視聴）外部講師

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□ 人権教室「みんな友だち」

人権に関するDVDを鑑賞した後、感想を交流し、友達のよいところを褒め合う活動を行った。その後、友達と仲良くするためにはどうすればよいか話し合い、最後に人権擁護委員の講話をいただいた。児童は、人権教室を通して互いのよさを認め合うことや、友情の大切さに気付くことができた。



【人権教室】

□ P T A 研修視察

夏休みにP T A 研修視察として親子で星塚敬愛園を訪問し、ハンセン病問題をより深く知ることができた。偏見や差別はハンセン病問題だけではなく、全ての人権問題と重なる課題であることを感じることができた。



【星塚敬愛園訪問】

□ 人権コーナーの設置

人権週間の期間中の全校朝会で教頭が全校児童に人権についての講話を行った。その講話で使ったスライドを掲示し、学校生活における更なる仲間づくりにつなげた。



【人権コーナー】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの聲、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 職員研修における外部講師による講話で、子どもや保護者と向き合うことの大切さや人権課題に対する理解と認識が深まった。
- 人権教室を通して人権に対する様々な考え方に触れ、自身と異なる価値観を否定せず一人一人の人権を大切にする意識を高めることができた。
- 小規模校のよさを生かして、年間を通して自尊感情の向上に取り組み、友達との違いを考え、一人一人のよさを認めあえる雰囲気をつくることができた。